

ラインアップ一覧

EV用

ワイヤレス充電



11kW

700W

単相AC200V

SAE規格の
WPT3、Z3に準拠

伝送距離 最大60mm

位置ズレ許容範囲が広く効率充電

普通充電器



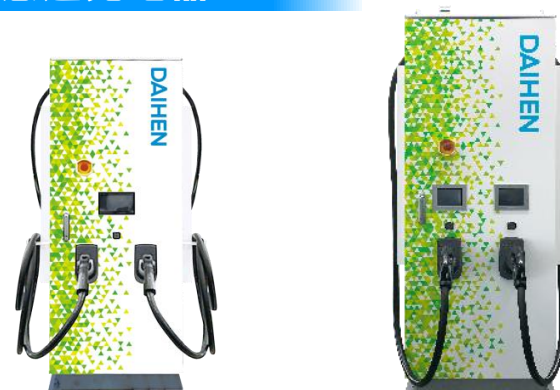
6kW

単相AC200V

エネマネ外部制御に対応

設置が容易

急速充電器



30/50kW

120/180kW

三相AC200V

三相AC400V

エネマネ外部制御に対応

2プラグで効率運用

最大4プラグ
2台同時+2台切替充電
(180kWのみ)

※製品の仕様およびデザインは予告なく変更する場合があります。

EV用普通充電器（6kW）

6 kW



型式	DSC006
定格出力	6kW
定格入力電圧・相数	AC200V ±15% 単相
定格周波数	50/60Hz
出力電流範囲	6 ～ 30A
使用温度範囲	-10 ～ 40℃
使用湿度範囲	30 ～ 90 RH %

外形寸法 (mm)	W:190×D:130×H:380 (※1)
質量	3kg以下 (※ケーブル除く)
設置場所	屋外、屋内 (壁掛/スタンド)
保護等級	IP55 相当 (※コネクタ部除く)
充電モード	MODE3
外部通信	RS485
通信プロトコル	Modbus RTU

※1 突起物含まず

■ 製品の特長

1. 充電電力のエネルギーマネジメント機能

- ・ 当社独自の自律分散協調制御技術「Synergy Link」と組み合わせることで、上限設定した電力値を超えないように接続された各充電器の充電電力を充電器ごとに自動調整（1.2kW～6kW）します。
- ・ 複数台の充電器を使用する際の優先順位付けが可能。
- ・ 普通充電器と急速充電器を併用する場合に普通充電器の出力を制限したり、停止するなど受電設備の容量とEVの使用状況に応じた充電が可能です。

2. エネマネによるコストダウン

- ・ EVの稼働台数・運用に応じた充電コントロールにより大規模な受電設備（キュービクル等）の増強が不要（初期投資額の抑制）
- ・ 使用電力の上限設定・自動調整により電力ピークの発生を抑制します。（ランニングコストの抑制）

3. 設置が容易

- ・ 取付ブラケットによる壁掛け設置、もしくは専用スタンド（オプション）の2種類から簡単に設置が可能です。

EV用急速充電器（主な機能・特徴）

30/50kW

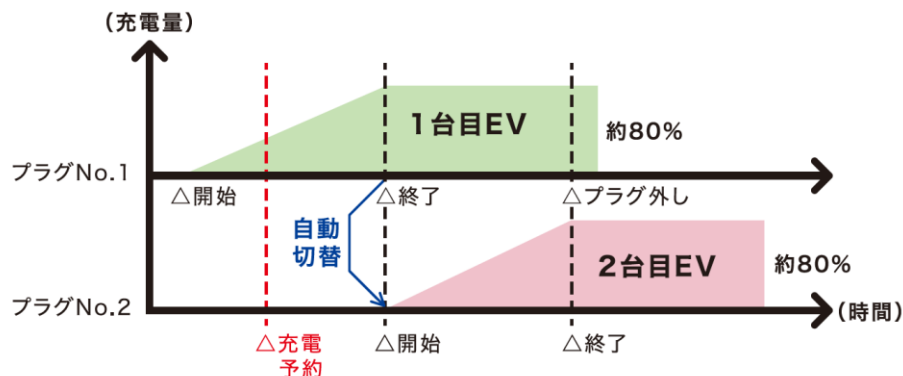


【主な特徴】

- OCPPによる遠隔監視・外部制御に対応
- 従来機に比べ高さを抑え、クラス最小を実現（1,620mm）
ユニバーサルデザイン規定にも対応
さらに充電開始/停止もタッチパネル画面上から簡単に操作可能
- プライベート利用において、充電器利用者を限定できるパスワード機能をオプション搭載
- 業界最小クラスの設置面積（0.28㎡）を実現
- 課金認証ネットワークに対応（エネゲート社製エコQ電）
- 充電ケーブルは最長15mに対応

Solution

2プラグによる予約機能と自動切替充電（シリーズ充電）で、EVユーザの充電待ち時間や充電渋滞を解消します



EV用急速充電器（主な機能・特徴）

120/180kW



【主な特徴】

【共通】

■エネマネ・外部制御に対応

- ・ 当社独自のSynergy LinkやOCPPプロトコルにより、既設システムや太陽光発電蓄電池システムと連携した施設全体のEMS構築が可能
- ・ 充電の集中による電力ピークの発生（運用コストの上昇）を抑制
- ・ 機器の増設や入替が容易で、将来の更なる脱炭素化の取組にも柔軟に対応可能

【120kW】

■小さな設置面積で、大電力急速充電に対応

- ・ パワーブースト機能で、片側最大90kW(15分間)の充電
- ・ クラス最小設置面積(0.46㎡)で緑地化確保にも有効、設置コストも低減

【180kW】

■「複合型マルチプラグ充電」により充電渋滞を低減・設置コストの低減

- ・ 90kWでの連続充電 x 2プラグ同時(180kW)充電を実現
- ・ 切替式プラグを2本追加することで、EV4台の急速充電に対応(2プラグが同時充電。充電完了毎に、自動切替充電)
- ・ 充電器1台で4力所の駐車スペースの充電に対応

※120kWは5月末CHAdeMO認証予定。180kWは準拠品の提供はできるが規格取得するためには騒音レベルを下げなければ認証取得できず対応検討中。

ダイヘンのエネルギーマネジメント

A: EV充電器運用時の電力ピーク抑制

※ SynergyLink とは弊社独自のエネルギーシステム

電力受電点の監視を行い、契約電力を超えるようなピークを出さないよう
充電電力の**出力制御**を行う ⇒ **EV充電のピークカット**

SynergyLink

と

外部制御対応プラグイン充電器

が必要



B: EV運用及び充電予定管理による電力ピークシフト

複数EVが充電器に接続されていても、一斉に充電を行わないように、EV運用と
充電スケジュールを管理(フリートマネジメント)して**ピークをずらす**
⇒ **EV充電のピークシフト**

※他社ソフトと通信連携する必要があります

外部制御ソフト・コントローラ

と

外部制御対応プラグイン充電器

が必要



C: 拠点全体のエネルギーマネジメント

上記B(複数EV充電の運用管理)に加えて、建屋の太陽光発電や蓄電池システム等
を含めて、電力の最適化を行う ⇒ **トータルエネルギーマネジメント**

※他社ソフトと通信連携する
必要があります

SynergyLink

と

外部制御ソフト・コントローラ

と

外部制御対応プラグイン充電器

が必要



令和5年度 充電器補助金



一般社団法人次世代自動車振興センター

■ 令和5年度 補助金（令和4年度補正予算） NeV次世代自動車振興センター

No	補助対象事業	対象充電器	本体		工事	
			補助率	上限額 *	補助率	上限額
1	高速道路S・A・P・A 充電設備設置事業 (経路充電)	全ての充電設備	急速充電器は定額1/1	DQC030L : 120万円 DQC050S : 360万円 DQC050D : 400万円	急速充電器は定額 (1/1以内) 普通充電器は 定額 (1/1以内) ・ 1/2以内*1	30kW:108 万円 50kW:280万円(3700万円 ※2)
(1)	高速以外 (道の駅・給油所) 道の駅等への充電設備設置事業 (経路充電)			DQC030L : 120万円 DQC050LS : 360万円 DQC050LD : 400万円		30kW:108万円 50kW:280万円
2	商業施設及び宿泊施 設等への充電設備設 置事業 (目的地充電)		急速充電器は定額 1/1(*3*4)又は1/2 普通充電器は1/2以内	DQC030L : 60万円 DQC050LS : 180万円 DQC050LD : 200万円		30kW:108万円 50kW:140万円
3-1	マンション等への充 電設備設置事業 (基礎充電)		急速/普通は 1/2以内	DQC030L : 60万円 DQC050LS : 180万円 DQC050LD : 200万円		
3-2	事務所・工場等への 充電設備設置事業 (基礎充電)					

*課金有無ともに同じ補助率

*1既設の普通充電設備、コンセント及びコンセントスタンドを撤去し、新たに普通充電設備、コンセント及びコンセントスタンドの設置のみを行う申請の場合、設置工事費の補助率を1/2以内とする。

*2高速道路SA・PA等（特別な仕様に基づく工事）への設置をした場合に適用する工事全体の上限額を示す。

*3定額については事業の種類、充電設備の種類及び設置工事の内容ごとに別にNeV（次世代自動車振興センター）が定める

*4定格出力90KW以上の急速充電器に限る

【機種別】 令和5年度 充電器補助金

30kW



30kW 急速充電器	経路充電		目的地充電・基礎充電	
	高速道路・道の駅・公道等		商業施設/宿泊施設 マンション/事業所駐車場 等	
	補助率	補助上限額	補助率	補助上限額
機器費用	100%	120万円	50%	60万円
工事費用	100%	108万円	100%	108万円

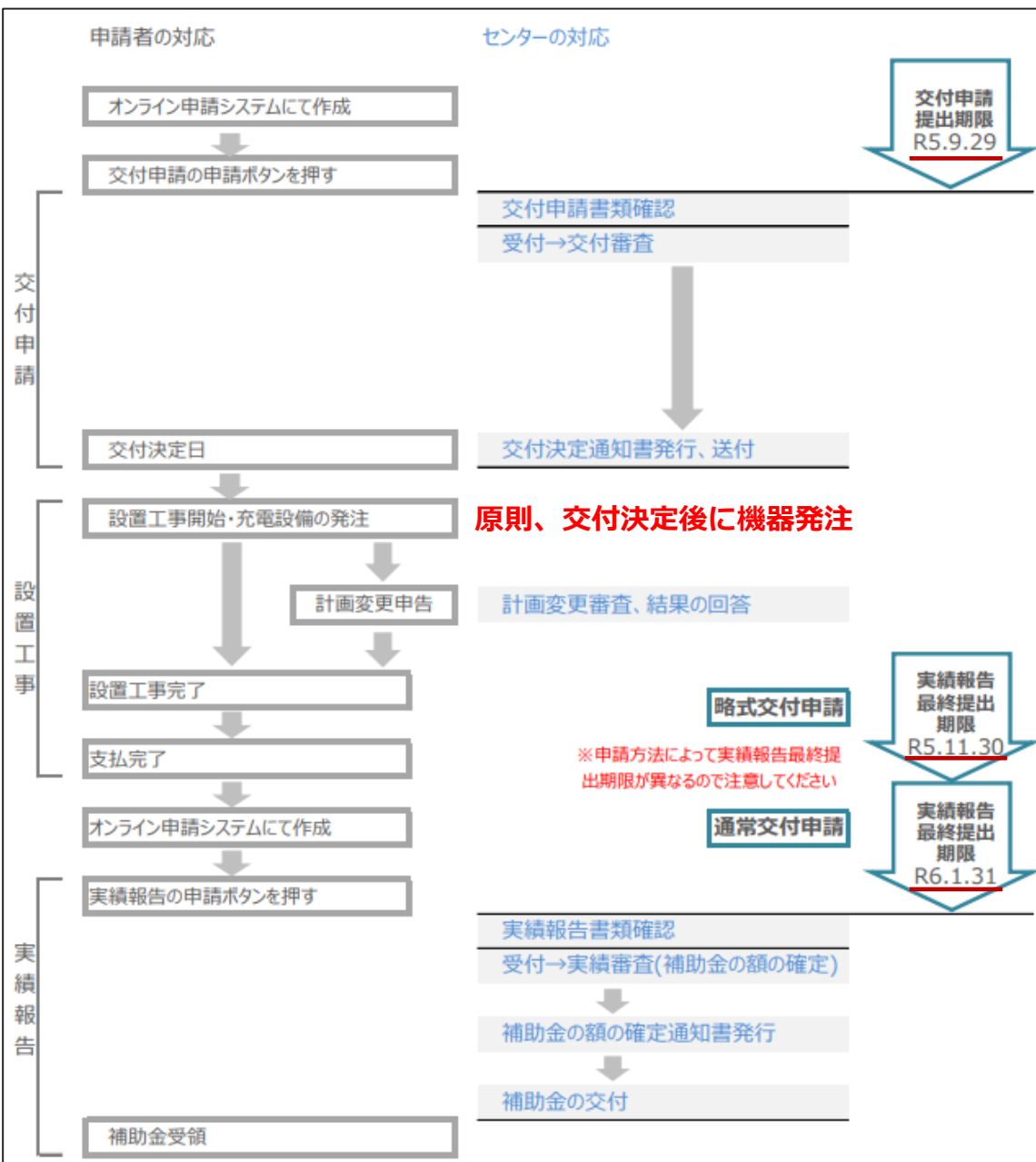
50kW



50kW 急速充電器	経路充電		目的地充電・基礎充電	
	高速道路・道の駅・公道等		商業施設/宿泊施設 マンション/事業所駐車場 等	
	補助率	補助上限額	補助率	補助上限額
機器費用	100%	360万円 (1°㏓)	50%	180万円 (1°㏓)
		400万円 (2°㏓)		200万円 (2°㏓)
工事費用	100%	280万円 (3700万円*1)	100%	140万円

* 1 高速道路SA・PA等（特別な仕様に基づく工事）への設置の場合に適用する工事全体の上限額

令和5年度 充電器補助金 申請の流れ



- 通常交付申請**：全事業対象 交付申請および実績報告において審査を行う申請方法になります。交付申請時から審査を行うため、交付決定時点で補助金額の見込みが立ちやすく、実績報告にて補助金額が交付決定額より大幅に下回る場合が少なくなります（注3）が、審査に時間を要します。
- 略式交付申請**：商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）およびマンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）が対象。ただし、「マンション等」への充電設備設置事業において、「4-11. マンション等簡易申請」を選択された場合は除く。交付申請時は補助金額の審査を行わずにオンライン申請システムにて算出された補助金申請額にて交付決定を行い、実績報告にて審査を行う申請方法になります。通常交付申請よりも交付決定が早く行われます（注4）が、実績報告でのみ審査を行うため、実績報告にて補助金額が交付決定額より大幅に下回る場合があります。また、実績報告の提出期限についても通常交付申請よりも短くなります。

注3：計画変更や費用の減額および工事の他用途等がなく、交付決定通りに工事を行った場合に限り。

注4：申請された入力情報および提出書類に不備等がある場合は審査に時間を要します。

メンテナンスプランのご案内

ダイヘンEV充電器（急速/普通）のメンテナンスプランは
豊富なプラン数で、安心&おトクに保守運用いただけます

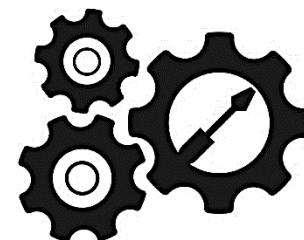
👉 コールセンターは無料

⇒ 24時間365日 電話受付対応 ※2023年4月販売分以降

👉 定期点検プラン等、好きな組合せでプランを追加

⇒ お客様のご希望に合わせて組合せ自由

👉 さらに、複数年契約の場合は割引価格にて契約可能



各種メンテナンスプラン【急速／普通】

定期点検プラン (年次契約)	スタンダード	年1回の定期点検 (清掃、外観チェック、動作確認を実施)
	プレミアム	年1回の定期点検 (清掃、外観チェック、動作確認を実施) [急速] 5年目に推奨部品を無償交換 / [普通] 予備機1台付き

※定期点検プラン（プレミアム）【急速】の基本交換部品は【充電コネクタケーブル(標準長さ)、ファン、液晶ディスプレイ】

駆けつけ対応プラン (年次契約)	スタンダード	夜間・休日含む2日以内にサービス担当者が 現地に駆けつけ（2回/年まで）※交換部品費用は別途
	プレミアム	夜間・休日含む2日以内にサービス担当者が 現地に駆けつけ（2回/年まで）※交換部品費用含む

※駆けつけ対応プラン未加入時は料金が割高になります。また、状況により駆けつけに2日以上を要する場合があります。

👉 **例えば…**

[定期点検(プレミアム)] + [駆けつけ対応(スタンダード)]
といった組合せでの加入が可能

